

# 牛久：学校周辺に見る自然

第12号 みずべ公園

2016年8月1日発行

## < 初夏のみずべ公園・生きもの観察 ～⑩鳥>

こんにちは。5/12 ひたち野うしく小4年生と歩いたみずべ公園、今回は、鳥。



一年中いるカルガモ(左)と冬鳥のコガモ(右・中)



夏鳥のツバメ

この日観察できたのは、どれもみずべ公園ではおなじみの鳥たちですが、ちょうどおもしろい時期にあたりました。一年中ここで見られるカルガモの他に、冬鳥のコガモも夏鳥のツバメも見られたのです。1週間後には、コガモの姿はどこにも見あたりませんでした。



カワウ(左)とカルガモ(右)



羽を広げて乾かしているカワウ

「まっ黒な鳥がカモをつついてるよッ！」とおおさわぎしていたので、「カラスでもあまり聞かない光景だけど…」と思いつつ子どもたちと走って見に行きました。すると、いつものように岩の上にはカワウが。近くにカモが丸まっているのも見えたので、カメラの望遠レンズを向けてみてホッとしました。頭を体の中にうずめて寝ているだけでした。しばらくすると頭を起こして、「だいじょうぶだよ」と子どもたちに告げてくれているようにも見えました。カモはカルガモ。「カワウは魚を丸飲みして食べる鳥で…」と話しました。前半のクラスの時には、水から出て羽を乾かしている姿が見られました。



林の中では、ヒーヨヒーヨとうるさく鳴く鳥がいました。数羽のヒヨドリが、群れていました。春には、オオカンザクラやヤマザクラの蜜を吸っていた鳥です。ふだんは木の実や花の蜜を食べる姿をよく見かけますが、繁殖期には昆虫なども多く食べるそうです。

ヒーヨヒーヨとうるさく鳴くヒヨドリ



スズメが何かをくわえていたので、さつと写真にとりました。後で確認すると、はねのある小さなガのような虫でした。スズメは雑食ですが、春から夏にかけての繁殖期には特に昆虫をよく食べるようです。日本ではスズメの数が減ってきているといわれ、いろいろ原因は考えられていますがまだよく分かっていないそうです。

**えさのガをくわえたスズメ**

最後に鳥の巣。子どもたちが「鳥の巣があるよ〜っ!」と呼んでくれましたが、何の巣か分かりません。カラスかな?いや違うなと思いつつ写真だけとっておきましたが、あとで確認してビックリ! ヒナの頭が写っているではありませんか。巣材にスギの枝が多いことや目の特徴からタカの仲間かと思いましたが、詳しい方がいらっしゃいましたら教えて下さい。ここ数年この公園で観察したタカの仲間はノスリとオオタカ、特にノスリはよく見かけました。よろしくお願いします。【理科支援員:宮内】



ノスリ?の巣(上)と、ヒナの頭のアップ(左下)。 右下は2013.01.21、みずべ公園で撮影したノスリ。